

緊急地震速報関連機器展示会

緊急地震速報関連機器等の展示会を 12 月 1 日（月）に開催します

緊急地震速報は、地震発生に伴い大きな揺れが到達する前に揺れの大きさ等をお知らせする情報です。一般に、この情報を受信してから大きな揺れが到達するまでの時間は、わずか数秒から十数秒と見込まれています（なお、場合によっては直下型地震などでは間に合わないこともあります。）。しかしながら、このような限られた時間内でも、適切な行動を執ることにより地震の被害を大きく軽減することが期待されます。

気象庁による緊急地震速報の一般提供は、平成 19 年 10 月 1 日の開始以来、一年余りが経ちました。この一年間に「一般向け緊急地震速報」が 8 回、また、「高度利用者向け緊急地震速報」が 599 回、それぞれ発表され、いろいろな分野で緊急地震速報の有効性が確認されました。このような中で、昨今、緊急地震速報の利活用のさらなる普及推進に大きな期待が高まりつつあります。

緊急地震速報利用者協議会（会長：阿部勝征東京大学名誉教授）では、気象庁の後援のもとに、来る 12 月 1 日（月）（11 時から 17 時）に都内北の丸公園内の（財）科学技術館（1 階：2 号催物場）において、緊急地震速報の利活用をテーマにした「緊急地震速報関連機器展示会」を開催いたします。

この展示会では、緊急地震速報利用者協議会の会員による緊急地震速報提供サービスの紹介や受信端末の展示・実演や関連防災機器の展示等が行われます。

また、併せて同日（13 時 30 分から 15 時 30 分）同科学技術館地下 1 階のサイエンスホールにおいて気象庁と緊急地震速報利用者協議会の共催により、緊急地震速報一周年記念講演会「情報から始まる防災～緊急地震速報をより減災に役立てるために～」が開催されます。

これらの展示会及び講演会の詳細については、別紙をご覧ください。

(別紙)

- 1 名 称
緊急地震速報関連機器展示会
- 2 期 日
平成20年12月1日(月) 11時～17時
- 3 場 所
(財)科学技術館 1階 2号催物場
(東京都千代田区北の丸公園2-1)
- 4 主 催
緊急地震速報利用者協議会
(後援 気象庁)
- 5 展示内容(予定)
 - ・緊急地震速報の受信端末機器の展示・実演
 - ・配信事業サービスの紹介
 - ・その他防災関連用品等の展示(出展会員及び展示内容の概要については、後日、緊急地震速報利用者協議会ホームページ(<http://www.eewrk.org/>)でお知らせします。)
- 6 参加方法
入場無料 事前予約不要
- 7 科学技術館への交通
駐車場の準備はございませんので、次の公共交通機関をご利用ください。
 - ・東京メトロ東西線 竹橋駅下車 1番b出口 徒歩7分
 - 九段駅下車 2番出口 徒歩7分
 - ・東京メトロ半蔵門線 九段駅下車 2番出口 徒歩7分
 - ・都営地下鉄新宿線 九段駅下車 2番出口 徒歩7分
- 8 問い合わせ先
東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁ビル内142号室
財団法人気象業務支援センター 緊急地震速報利用者協議会事務局
担当 加藤芳夫 TEL 03-3215-6110

気象庁と緊急地震速報利用者協議会の共催による緊急地震速報一周年記念講演会「情報から始まる防災～緊急地震速報をより減災に役立てるために～」への参加には事前予約が必要です。詳しくは気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)をご覧ください。